

令和 7 年度第 3 回
宮城県保健環境センター評価委員会

日時 令和 7 年 1 2 月 1 7 日（水）
午前 9 時から午前 9 時 4 0 分まで
場所 保健環境センター大会議室

1 開 会

2 挨拶（保健環境センター所長）

3 保健環境センター評価委員会条例第4条第2項の規定による会議成立の宣言

（委員6人出席）

4 議 事

（1） 審議事項 ア 評価委員会の公開の可否について

議長（山田委員長）：皆さんおはようございます。今年度は機関評価並びに課題評価ということで、皆さまの貴重なお時間を、御都合つけていただいて、今日なんとか機関評価の答申案をまとめる作業に入りますので、最後まで御協力、御支援をいただければと思います。本日はどうぞよろしく願いいたします。

次第の順に議事を進めますので、円滑な議事に御協力をお願いいたします。

審議事項ア「評価委員会の公開の可否について」事務局から説明をお願いいたします

事務局：（情報公開条例に基づく会議の公開について説明）

議長（山田委員長）：それでは本委員会の公開の可否について審議いたします。会議の非公開について該当事項はないということですので、本委員会は公開することとして、よろしいでしょうか。

<異議なし>

議長（山田委員長）：それでは、異議はないようですので本委員会は公開することといたします。

事務局から本日の傍聴者について報告をお願いします。

事務局：本日の傍聴者はございません。

議長（山田委員長）：ありがとうございました。

（1） 審議事項 イ 令和7年度宮城県保健環境センター機関評価答申（案）について

議長（山田委員長）：それでは審議事項イ「令和7年度宮城県保健環境センター機関評価答申（案）について」でございます。

前回、知事から「宮城県保健環境センターの機関評価について」と題して諮問を受けております。今回の評価委員会では、諮問に対する答申をまとめていくこととなりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、「令和7年度宮城県保健環境センター機関評価答申（案）について」事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料1、2、3に沿って説明）

議長（山田委員長）：ただいまの説明に関しまして、委員の皆さまから何か御質問など、進め方等

についても、疑問点あるいは御確認がございましたら、お願いいたします。

<質疑等なし>

議長（山田委員長）：それでは、このまま進めさせていただいてよろしいでしょうか。

<異議なし>

議長（山田委員長）：ありがとうございます。それでは資料1記載の方法で、答申をとりまとめていくことといたします。

次に、資料2「宮城県保健環境センター機関評価答申（案）」及び資料3「機関評価票集約表」について説明をお願いいたします。

副所長兼企画総務部長：（資料2及び3に沿って説明 欠席の木村委員から事前意見等がなかったこともあわせて説明）

議長（山田委員長）：それではただいまの説明につきまして、範囲も広いので順番にそれぞれの委員の皆さまから御意見をいただいた内容が、今回の答申案の文言として反映されているかどうか、御確認いただきながら、引き続き整理していきたいと思います。各委員から御意見いただいたもので同類のものは、適切にまとめながら文書化されているかと思うのですが、まとめ作業の中で主張したい意見のニュアンスがずれているのであれば、文言を修正しながら決めさせていただきますので、忌憚なく御発言いただければと思います。

● 1 県民や社会的ニーズへの対応

議長（山田委員長）：それでは最初に資料2の3ページ目「県民や社会的ニーズへの対応」の確認をしていただければと思います。意見が5つにまとめられていますが、委員の皆さまいかがでしょうか。この中で修正を求めるような御発言はありますでしょうか。事前に御確認いただいてから御参加いただいているかと思しますので、特にここで御発言がなければ、この内容でまとめさせていただきますと思いますけれども、よろしいでしょうか。

<質疑・修正意見等なし>

議長（山田委員長）：はい、ありがとうございます。

● 2 組織運営体制

議長（山田委員長）：それでは続きまして2「組織運営体制」です。こちらも5つにまとめられておりますが、いかがでしょうか。ちなみに事務局は、まとめ作業する時に何かAIのツールを使ったりとか、そういう形でまとめられてきたのですか。

事務局：最初はAIを使いましたが、AIを使うとやっぱりやりすぎ、言いすぎな部分も結構あったため、原文になるべく沿ったような形に戻すといった調整をしております。

議長（山田委員長）：ありがとうございます。私の方でも各先生方の主張されたい意見のキーワードを抜粋し、照らし合わせながらチェックしてきたのですが、うまくまとまっているように感じたので、ニュアンスがそんなにずれていなければ、こういったまとめでもいいのではないかなと思っていたところです。委員の皆さまいかがでしょうか。よろしいですかね。

<質疑・修正意見等なし>

議長（山田委員長）：それでは、組織運営体制についての案についても、このまとめとさせていただきます。ありがとうございます。

● 3 主要事業

議長（山田委員長）：それでは続いて、「主要事業」です。主要事業については、3つにまとめられています。特に情報発信とか、あるいは環境情報センターや気候変動適応センターの使い勝手についての御意見が多かったなと思います。また、若手職員の業績にもつながる論文執筆等の促しも積極的にやっていただきたいという内容についても御指摘いただいているものになります。特によろしいですか。

<質疑・修正意見等なし>

議長（山田委員長）：ありがとうございます。それでは、主要事業につきましても、この答申案のまとめとさせていただきます。ありがとうございます。

● 4 調査研究

議長（山田委員長）：続いて、6ページになります「調査研究」ですね。こちらは4つにまとめられています。いかがでしょうか。調査研究を通して得られた知見の積極的な広報、あるいはセンターで実施されている研究発表会の発表を充実させてはいかがかという意見もいただいていると思います。業務的には先端的な手法を導入されて、十分な成果を得られているという評価をさせていただいているところではありますけれども、いかがでしょうか。

佐藤委員：①の後半のところで、私の意見した部分を書いたもので、研究発表会に「原則全職員が」と書いてあるのですけれども、あまりプレッシャーにしてもらっても困るので、この辺はもう少し柔軟かめに書いていただいても結構だと申し添えたいと思います。

議長（山田委員長）：では、今変えましょう。「原則として」と付けるとちょっときついですかね。「今後は、全職員が発表を目指せるように工夫していただきたい」としてはいかがでしょうか。

佐藤委員：その程度で結構です。

議長（山田委員長）：読み上げると、「今後は、全職員が発表を目指せるように工夫していただきたい」。ありがとうございます。ほかはいかがでしょう。

<質疑・修正意見等なし>

議長（山田委員長）：ほかはないようでしたら、ただ今の小さな修正にはなりますけれども、これを踏まえたまとめとさせていただきます。ありがとうございます。

● 5 前回答申された評価結果に基づいて講じた措置

議長（山田委員長）：それでは、7ページになります。「前回答申された評価結果に基づいて講じた措置」について、3つにまとめていただいております。この3点については、いかがでしょうか。

村田副委員長：単純に漢字の間違いですが、①の最後の方で、「離職の一員」のところの「員」を、原因の「因」に直していただきたいので、それだけ修正をお願いします。

議長（山田委員長）：ありがとうございます。またのところからですね、①の最後の2行、「また短期間での異動が若手職員の離職の一員」の「員」を、原因の「因」に漢字の修正をしていただくということですね。ほかはいかがでしょう。

＜質疑・修正意見等なし＞

議長（山田委員長）：それでは、特にないようでしたら、ただ今御指摘いただいた漢字の誤字を修正していただくということで、この後のまとめとさせていただきますと思います。ありがとうございます。

山田委員長：全体を通してということではないのですが、戻るように申し訳ないですけども、3ページの「県民や社会的ニーズへの対応」のところで一言だけ伝えたいことがあるので、お聞きいただきたいのですが。⑤の「環境保全分野においては公害問題への対応のみならず開発行為による景観悪化や生物多様性などの課題もある」と、指摘したのが私なのですが、意図としては典型7公害を含め、保健環境センターさんは、健康管理、感染症対策あるいは公害対策をずっと手掛けてこられた中心的な役割の拠点なわけなのですが、今までは健康の問題あるいは公害対応ということであったんですけども、2000年代以降、やはり生物の多様性とか、あるいは水の分野においても水生生物に対するその環境基準値が設けられるなど、我々人間のその健康とその水利用の問題だけではなく、その他の生き物に対する環境対策も重視されてきました。直接的にしろ、間接的にしろ、典型7公害由来でなんらかの影響を受ける野生生物も多いわけですし、また昨今の熊被害を見ると、街中に出てくるということは、熊の体に住み着くマダニ由来をこのセンターでも検討された感染症の問題が、なんらかの形で伝わってくる可能性もやっぱり秘めているわけで、今までの保健環境センターが対象としてきた人の健康だけではなく要素も徐々に考えておかねばいけない問題なのかなと思っております。だからと言って今限られた人員で、そういった分野に手を広げて研究してくださいということを言っているわけではなくて、このセンターからどういう情報を発信するのかというのがやっぱり大事なので、この保健環境センターが培ってきた今までの知見や視点を加味しつつ、これからの社会ニーズに適した環境問題についても触れて、積極的な情報発信を、県庁の中での横の繋がりを良くして、是非進めていただきたいなというつもりで書いております。この文言の中だけでは表現できなかったところをちょっと補足させていただきました。何か文章として加えたいという意図ではないのですが、せっかく委員の皆さまがいらっしゃる場所ですので、意見を共有させていただきました。

議長（山田委員長）：委員の皆さまから、何か全体的にこの取りまとめについて、御意見あるいは御質問ございますでしょうか。

＜質疑・修正意見等なし＞

議長（山田委員長）：それでは、非常に原案がよくまとまっていたかと思いました。後半の文言修正

と誤字の修正だけで、最終的な答申にまとめられるということになりそうですので、本日の審議では資料 2 の機関評価答申案から、大きな修正はないということです。最終案の確認については、委員長の私に一任をさせていただいて、先ほどの御指摘いただいた修正の確認で終わらせるという手続きを進めてよろしいでしょうか

＜異議なし＞

議長（山田委員長）：ありがとうございました。それでは、委員長の私に一任をいただき、最終案を私が確認をするということで、今後の手続きに入りたいと思います。ありがとうございます。

（２） その他

議長（山田委員長）：それでは、議題の最後、その他ですが、事務局で用意しているものはございますでしょうか。

事務局：特にございません。

議長（山田委員長）：ありがとうございます。それでは、委員の皆さまから何かございませんでしょうか。

＜質疑等なし＞

議長（山田委員長）：ありがとうございます。それでは、無いようですので、議事を終了し、以後の進行を事務局にお返しします。御協力ありがとうございました。

４ 閉 会